

親鸞聖人は、すべての者が等しく仏に成ることができる唯一の道が南無阿弥陀仏であり、お釈迦様が世に出でられたのはその教えを説くためであつたとお示しになられました。

# 題材法話

前号からのつづき

ある女性が小学校4年生だった時に、かわいがってくれた隣のおばあちゃんが死にました。

少女は悲しみの中で、「おばあちゃんは何処へ行つたのだろうか？」一人は死んだらどうなるんだろ？」と疑問に思い、お母さんに尋ねました。

尋ねられたお母さんは、「困ったような顔をしなからうという事はお父さんに聞いてみたら」と言われ

たそうです。○少女の疑問はつづく

仕事から帰って来るのを待たして、同じように聞いてみ

ました。するとお父さんもやり困ったような顔をして、

「そんなことはもつと年を取ってから考えれば良いんだ」と仰ったそう



いたのだそうです。と怖い顔をして「もつと他に考えなければならぬ」とい



たのですが、ある時仲良しな友達に何気なしにその話をしたのだそうです。



豊かでしょうか。その女性は「大人になつた今、お仏壇に手を合わせ



「竹灯籠の夕べ」  
住職法話より